

紙 風 船

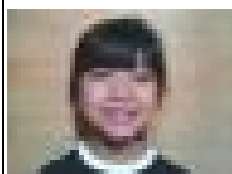


◆ 令和7年度前期終業式

4月の前期始業式からあつという間に半年が経過し、本日、令和7年度前期終業式を行いました。今日までの登校日は106日（1年生は104日）です。この間、子どもたちは、日々の授業や行事等を通して大きくたくましく成長しました。先日の学習発表会においても、お子さんの成長を感じていただけたのではないのでしょうか。明日から5日間の秋休みに入りますが、お子さんの頑張りを大いに褒めていただくとともに、後期に向けて心身共にリフレッシュする時間を過ごしてほしいと思います。

保護者の皆様のご理解とご協力により、前期は実りある教育活動を行うことができました。本当にありがとうございました。後期もどうかよろしく願いいたします。

前期終業式での代表児童の発表



「ぜんきにがんばったことと、こうきにたのしみなこと」

1年 E.K

わたしがぜんきにがんばったことは、三つあります。

一つめは、こくごです。ひらがなやかたかなのもじを、しっばいしてもあきらめないで、なんどもれんしゅうしました。そしたら、とめやはらいなどにきをつけてかけるようになってきました。

二つめは、たいいくです。がくしゅうはっぴょうかいにむけて、ダンスやたいそうのれんしゅうをがんばりました。せんせいから、「キレッキレでかっこよかったよ。」といわれてうれしかったです。

三つめは、かかりのしごとです。けんこうかんさつカードをもってくるしごとを、はじめは、わすれてしまうこともあったけれど、いまは、わすれずにもってこることができるようになりました。

こうきにたのしみなことは、スキーです。たざわこスキーじょうのかもしかゲレンデのリフトにのって、うえからすべってきたいです。



「前期がんばったこと」

4年 H.A

わたしの前期のいちばんの思い出は、陸上大会の800メートル走です。

練習のときは、つかれて歩いてしまうこともありました。でも、本番では、「とにかく何も考えずに前の人の頭を見て走ろう」と思ってスタートしました。すると、気がついたら、前にいた人を追いこして、自分でもびっくりしました。最後まで走りきったときは、「やった!」という気持ちでいっぱいでした。このとき、「深く考えすぎずに、とにかくやってみることも大事なんだ」と思いました。

勉強の思い出は、算数で分度器を使って角度をはかる学習をしたことです。はじめは、どうやって分度器をあてればいいのか分からなくて、とてもむずかしかったです。数字をまちがって読んでしまったり、角のどこに合わせればいいのか分からなかったりして、何回もやり直しました。でも、先生に教えてもらったり、友だちといっしょに考えたりしながら、だんだんできるようになってきました。できたときは、すごくうれしかったです。この経験を通して、「分からなくても、あきらめずにがんばれば、できるようになる」ということを学びました。

後期も、分からないことがあっても、あきらめず、こわがらず、いろいろなことにチャレンジしていきたいです。